

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では S D G s 教育を推進しています。

さいたま市立 与野本町小学校



- 1 学校教育目標 かしい子 心ゆたかな子
たくましい子 助け合う子
- 2 開校155年を迎え、歴史と伝統が息づく学校
- 3 本町の心 “ニコニコ しっかり 美しく”



■所在地：さいたま市中央区本町東3-5-23

■電話：048-852-4444

■FAX：048-852-9223

■交通：JR埼京線与野本町駅徒歩5分

01 ニコニコ



「ニコニコ」という表現は、心がゆたかでやさしさに満ちている様子を表



します。児童会が異学年で交流を行う縦割りの活動に主体的に取り組んでいます。縦割り班を「ニコニコグループ」として毎月のニコニコタイムで交流を深め、3学期には「ニコニコフェスティバル」というイベントに向けて協力して準備に取り組みます。学年や学級においても、日々の様々な活動を通して児童が互いを認め合い、助け合っていくコミュニケーションがごく自然に生まれています。

02 しっかり



視野を広くもち、生涯にわたって学び続ける意欲と態度を育てるために、



主体的・対話的で深い学びの機会を大切にしています。また、歴史と伝統ある本校を取り巻く地域への関心を深め、知識を増やす中で、自分たちを取り巻く人々への感謝と尊敬の思いを大切にします。さらに、日頃お世話になっている「子どもを見守り隊」の皆様を招いての感謝の会、中央消防署や与野図書館などを訪ね、調べたりお話を聞いたりする「地域探検」、本校校舎と一体となった与野郷土資料館を活用しての学習活動などを通して、子どもたちがねらいを明確にもちながら「しっかり」と学習に臨み、成果を高めます。

03 美しく



「美しい」心を育てるために道徳教育を推進し、特別の教科道徳の充実を図ります。また、「本町スマイルフラワー週間」として、友



達のよいところを伝え合う掲示物を用意し、他者を思いやり認め合う気持ちを育てます。さらに児童会が中心となって「本町小ニコニコ委員会」を開催し、いじめを自分たちの問題と捉えながら、いじめや差別を許さない意識を高め、学校全体でいじめの防止に取り組めます。そして何事にも仲間と共に一生懸命に取り組み、自分のよさ、目標を成し遂げる達成感、力を合わせることの尊さなどを実感し豊かな人間性を育みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs教育を推進しています。



さいたま市立 **上落合小学校**

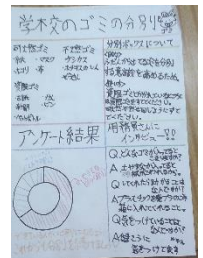
学校教育目標
あかるく なかよく たくましく
～わくわく登校 笑顔で下校～



■所在地:さいたま市中央区上落合 4-14-24
■TEL:048-852-5381 ■FAX:048-852-0150
■E-mail: kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp

- 「あかるく」いきいきと学ぶ子【生涯学び続ける力】(Growth)
- 「なかよく」思いやりのある子【国際社会で活躍できる力】(Global)
- 「たくましく」最後までやり抜く子【真の学力】(Grit)

1 総合の学習から



◇第5学年 総合的な学習の時間にて

総合的な学習の時間「世界へ!未来へ!つなげよう」ではSDGsについて学習しました。

SDGsについての理解を深め、地域や学校の課題を自分事として捉え未来をより良くするために自ら考え、行動することができました。SDGsの各テーマの内容や課題について調べたり体験活動を行ったりした後に、「自分たちにもできること」「学校に広げられること」という具体的な行動へとつなげました。校内の課題として挙げた節水やごみの分別などを実践するための計画を立て、行動に移しました。活動を通して自分たちの行動が自分たちの未来に深く関わっていることを自覚し、「自分の一歩」が世界を変えることに繋がるという責任感をもちました。

2 道徳の学習から



◇第1学年 道徳科「ハムスターの赤ちゃん」にて

道徳科では、内容項目「生命の尊さ」で命を扱う学習を行います。自分の命、身の回りの生き物や生物を大切にしようとする心をはぐくむことができました。飢餓や貧困で物が食べることができず、命を落としてしまう国々があることに目を向けた国際理解、自然の不思議さや生命力に気付き自然・動植物を大事に守ろうとする意識を高める自然愛護などの各内容項目から SDGs 教育の全17の目標に関連付ける道徳教育に日々取り組んでいます。

3 委員会活動から



◇ 委員会活動から

飼育・栽培委員会が中心となり、PTA の方と一緒に植栽活動を行いました。花を育てることを通じて、お互いに協力し合い、相手の立場を考える態度を培い、そして、生命の尊さを学びながら豊かな心を育み、やさしさと思いやりの心を育てています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
大戸小学校



本校は、開校 154 周年を迎えた、地域に根差した学校です。

【学校教育目標】

- かしこく 自ら考え 正しく判断できる子
- やさしく やさしさと思いやりのある子
- たくましく 健康でたくましい子



■所在地：さいたま市中央区新中里 1-6-28

■電話：048-831-3796

■FAX：048-831-3589

■交通：JR北浦和駅徒歩 15 分、南与野駅徒歩 12 分

01 児童一人ひとりのよさを生かした指導の充実

安心して通える学校にするために



本校では、すべての児童
が安心して学習に臨めるよう
にするため、個別最適な
学びや協働的な学びを実現



するための指導法の工夫について研究しています。具体的には、ICT 機器の学習における実践的な活用や、それらを活用しながら「誰と」「何のために」「どのように」学ぶかを自分で決めたり考えたり（自己調整）する学習の場づくりが挙げられます。ICT 機器の効果的な活用方法を身に付けるとともに、自己調整を行いながら学ぶことのできる児童の育成を目標に、児童一人ひとりのよさを引き出し、すべての児童が安心して通える学校づくりを目指しています。

02 人との関わりを大切にする活動の充実

地域への関心を高めるために



本校では、地域社会との
繋がりを通して豊かな人間
性を育む「人との関わりを
大切にする活動」の充実に



努めています。地域の方を招いて遊びを教わる交流会や、近くの商店街でのインタビューを通した「町たんけん」を実施しています。地域の方々の温かさや仕事への願いに直接触れることで、自分たちの生活が多くの人に支えられていることへの気づきを促します。また、スーパーマーケット見学等の体験活動を学習と結び付け、社会の仕組みへの関心を高めています。さらに、代表委員主体の「あいさつ運動」を定期的に行うことで、自ら進んで心を通わせる態度の育成にも注力しています。これらの活動を通じ、地域への愛着をもち、主体的に社会へ関わろうとする児童の育成を目指しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では S D G s 教育を推進しています。

さいたま市立 下落合小学校



- 1 「よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子」の学校教育目標のもと、「一人ひとりが輝き 未来を拓く 下落合小の子どもたち」の育成を目指しています。
- 2 目指す学校像は、『安全・安心・信頼』を基盤に、一人ひとりが輝き、思いやりあふれるあたたかい学校です。
- 3 昭和29年開校、さいたま新都心に一番近い学校です。



■所在地：さいたま市中央区上落合 1-7-33 ■電話：048-852-2280
■FAX：048-852-0188 ■交通：さいたま新都心駅・北与野駅 徒歩 5 分

01 質の高い教育をみんなに



さいたま市教育委員会の人生100年時代を豊かに生きる「未来を拓くさいたま教育」を推進し、学校・保護者・地域社会の相互の信頼・協力関係のもと

とカリキュラムマネジメントを行い、「開かれた教育課程」を展開しています。

また、新都心の立地性や地域のエネルギーを教育活動に生かし、地域や保護者の方々と交流や実践することを大切にしながら協力し合い、学校づくりを進めています。



02 住み続けられるまちづくりを



総合的な学習の時間では、毎年、4年生が「共に生きる～みんなにやさしいユニバーサルデザイン～」をテーマにして学習を行っています。
○体験したことをもとに、不自由を感じている人に自分から働きかける力を養う。

○体験活動や調べ学習を通して、自分の生活を振り返り、できることは何かを考える。

○バリアフリーに関心を持ち、意欲的に調べ、活動する。

これらの目標をもち、体験活動を行いながら、誰もが住みやすいまちづくりについて考えています。

さいたま新都心に一番近い学校の立地を生かして、まちづくりにおけるバリアフリーを探したり、車いすやアイマスク・白杖の体験をしたりして学習を深めています。

また、車いすバスケットボール選手の方に学校に来ていただき、実際にプレーを見せていただいたり、選手になるまでの貴重なお話を伺ったりしています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立
与野西北小学校



「みんなでつくる みんなの与野西北小学校」

～「輝く瞳に夢いっぱい」な学校を子ども・家庭・地域と協働・連携してつくります～
児童会スローガン【 せいほく だいすき 】

学校教育目標 「みんなと協力する子」（人権・情操） 《徳育》
「自分の力で考える子」（学力の向上・自主・実践・根気） 《知育》
「心身ともに健康な子」（体力の向上・健康・安全） 《体育》
「人との関わりを大切にする子」（コミュニケーション力の向上） 《響育》

■所在地：さいたま市中央区円阿弥4-3-7 ■電話：048-853-0109
■FAX：048-853-6110 ■交通：JR さいたま新都心駅より 西武バス/国際興業バス 15分
JR 北与野駅より 西武バス/国際興業バス 13分 JR 大宮駅より 西武バス 20分
◆バス停「円阿弥」下車 徒歩5分◆

01 地域との協働・連携 学校運営協議会への児童の参加



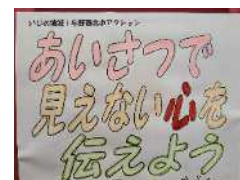
子どもや学校が抱える課題の解決や未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには地域総がかりでの教育の実現が必要です。「地域でどのような子どもたちを育てていくのか。そのために何を実現していくのか」「地域にどのように貢献できるのか。具体的に何をするのか」という目標やビジョンをお互いに共有していくことが重要です。学校の主役である子ども達とともに「考え」「議論し」「行動する」ための意見交換をする機会として地域や保護者が参加する、学校運営協議会に児童も参加をしています。児童が当事者意識をもち自分たちの未来を考えられるよう、学校と地域が手を取り合って協働・連携による取り組みを進めています。子どもや保護者、地域の理想とするスクール・コミュニティとしての学校「みんなでつくる みんなの与野西北小学校」を子どもたちと実現させていきます。

02 平和で平等な社会の実現



平和で誰でも受け入れられる平等な社会の実現は、世界中の人々にとって豊かで幸せな未来をもたらします。全ての人々の人権を尊重

する社会の実現を目指す SDGs の理念の下、子どもたちが自他の大切さを認めることができるよう、相手の考えや気持ちを想像する力や共感的に理解する力を育てていきます。2030年に成人を迎える高学年の子どもたち。いじめのない社会を築く人材となるべく、まずは、自分たちの身近な学級から考えていきます。いじめや差別・偏見等の撲滅、誰もが安心して生活できる学校にするために、児童会の子どもたちをリーダーとして、1年生から6年生まで子どもたち一人ひとりの人権意識を育みます。授業や話し合い活動、委員会、行事などすべての教育活動を通して子どもたちと取組を進めていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では S D G s 教育を推進しています。



さいたま市立

鈴谷小学校



1 学校教育目標

「かしこく たくましく 心豊かな児童の育成」

2 目指す児童像

「瞳・笑顔・汗・会話 きらきら輝く 鈴谷の子」

○かしこい子（瞳）

○すなおな子（笑顔）

○心身ともにたくましい子（汗）

○つながる子（会話）



■所在地：さいたま市中央区鈴谷 5-1-1

■電話：048-852-5675

■FAX：048-852-1917

■交通：J R埼京線南与野駅徒歩5分

01 Well-being（幸せ）の保障を目指した学びの質の向上



総合的な学習の時間「大かやタイム」では、教科等横断的な学習を充実させた活動を行っています。4年生はさいたま市の高齢者や障害者団体の方々にグロステイチャーとして、福祉社会についての理解を深めました。高齢者や障害等の視点をもって地域を歩く体験を経て、自らが考え、何ができるかをまとめ、障害者団体、地域の高齢者施設の方々や保護者等を招いて発表会を行いました。児童の主体性を育てるための学校行事への取組として運動会や校内音楽会等の実施を検討し「量」から「質」

への転換を目指し、児童が主体的に関わりながら、コミュニケーション力や非認知能力の育成につながる実践を積み重ねています。高学年では教科担任制を継続し、専門性を生かした指導による学びの質の向上と、多面的な児童理解の充実を図っています。さらに、ミライシード等ICTを活用した実践を積み重ね、「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を進めています。



02 地域とともにある学校づくり



本校では、地域との連携を一層深めながら、児童と地域の双方の Well-being の向上を目指した学校づくりを推進しています。すずやっ子サポーターズ（PTA）や後援会が主催する親子奉仕作業は継続的に実施され、地域の方々との協働を通して、安心して過ごせる環境づくりとともに、児童の主体性や社会性の育成につながっています。また、自治会長さんが畑を提供してくださり、2年生が植え付けから収穫までの芋ほり体験をしています。

一斉下校時の「子どもひなん所110番の家」への訪問や「感謝の会」での交流を通して地域との信頼関係が一層深まり、児童が安心して生活できる基盤になっています。さらに、すずや祭は、キッチンカーや体育館でのゲーム、お化け屋敷等で盛り上がりしました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

> 与野八幡小学校 < > > > > > >

児童が主体的で自律的な学びを実現する Well-Being な学校

<学校教育目標>

- 自ら学ぶ子 : 目標の実現をめざし、意欲をもって学習に取り組む子
- 思いやりのある子 : 友だちのことを考え、約束を守ってなかよく生活できる子
- たくましい子 : 元気で健康な生活を送り、進んで体力づくりにはげむ子
- 人とつながる子 : 気持ちのよいあいさつをし、助け合うことができる子



■所在地 : さいたま市中央区本町東 5-23-14 ■電話 : 048-854-5561
■FAX : 048-854-5560 ■交通 : JR 埼京線北与野駅徒歩 10 分

01 児童の安全な生活と健やかな成長のために

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校では、1年生を対象に外部講師をお招きし、交通安全教室を実施しています。学校の立地が非常に車通りが多い場所であり、その危険に備える大切さを考えさせながらの学習となります。

また、冬には1週間の給食週間を設定し、全年で食育を行います。TV放送を活用した給食室の紹介、調理員さんへの手紙、高学年では夢の献立を考える活動を通し、食の大切さやそれに携わる人々への感謝の気持ちをもてるようにしたいと考えています。



02 児童自身が周りの環境に目を向けるために

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校では、4年生の総合的な学習の時間を通して「みんなにやさしいまち」とはどんなことなのかを考えます。白杖・車いす体験を通し、子どもたちは、バリアフリーについて学び、考えます。自分ができることはもちろん、私たちの生活の中にある「みんなへのやさしさ」など、今まで目を向けてこなかったことについても考えます。

6年生の総合的な学習の時間では、世界遺産について調べます。日本はもちろん、世界中にある世界遺産について知り、その大切さと素晴らしさを感じられるようにするとともに、人類共通の財産を、どのように大切に、受け継いでいくのかを学習し、できることを考えます。



03 児童が主体的に活動に取り組むために

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本校では、兄弟学級での活動「なかよし学級」で、異学年交流を通年でっております。兄学年は弟学年をより楽しませるために、進んで活動に取り組んでいます。

高学年による委員会活動では、活動報告を昼の放送を通して行い、活動内容や各取組が全校に伝わるようにしています。美化委員会による掃除点検では、よい掃除をしていたクラスを放送で発表することで、全校で進んできれいな学校を目指し、掃除に取り組めるようにしています。また体育委員会の児童が発案し、企画・運営する外遊びイベントなどを実施することで、児童が楽しみながら体育の向上を図れるようにしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立
与野南小学校



『笑顔輝く 楽しい学校』 かしこく なかよく たくましく

①すから学び ②かまと学び ③んなで伸びる

「与野南小学校」で学ばせたい」との期待と

信頼に応えられる学校創り

～「凡事徹底」 + 3つのC (Challenge・Chance・Change) = 楽校 ～



■所在地：さいたま市中央区大戸 6 丁目 2 番 2 5 号 ■電話：048-831-0157
■FAX：048-831-0122 ■交通：JR 南与野駅東口から徒歩約 5 分

01 「主体的・対話的で深い学び」の実現



学校課題研修では、研究主題を「主体的に学び、考えることのできる子の育成」とし、さいたま市教育委員会の示した「学びのポイント（じしゃく）」の視点に

基づく授業改善を図っていきます。子ども一人ひとりが個別最適な学び、協働的な学びを通して、主体的に学び、考えることができるように児童の育成に努めています。



02 児童の主体性を生かし、安心・安全な学校をつくる



本校では、児童の主体性を生かした異学年グループによる縦割り活動「全校スマイル集会」「なかよしグループハッピータイム」を通して、思いやりの心を醸成しています。また、

代表委員会が中心となって、あいさつ運動に取り組み、スマイルあいさつキャンペーンとして、誰もが気持ちよく生活できる態度を育成しています。さらに、各学級で話し合い、作成した「いじめゼロの木」、全児童分を掲示した「人権標語コーナー」等で、環境を整備し、安心・安全な学校づくり



03 実体験を通して、命の大切さや生物の多様性に気付かせる



校舎裏にある「南小ファーム」では、年間を通して、トマト、なす、ピーマン、とうもろこし、さつま



いも等の野菜を各学年が計画的に栽培しています。種まき、苗植えから育て、生産者の思いに気付いたり、緑豊かな環境について考えたりする活動に取り組んでいます。



みなみん
与野南小マスコミキャラクター